

令和4年度 入学試験日程

Table with columns: 学部, 入試種別, 募集人員, 出願期間, 試験日, 合格発表日. Rows include 医学部, 歯学部, 薬学部, 保健医療学部.

\*1 特別協定校のみ \*2 特別協定校・指定校を含む \*3 特別協定校を含む

Table with columns: 入試種別, 募集人員, 出願期間, 試験日, 合格発表日. Rows include 医学部附属看護専門学校.



全体説明会(オープンキャンパス)



全体説明会(総合型選抜入試)



学生による寮生活の説明



在学生とのフリートーク

傾ける姿が見られた。... 全体説明会では、入学試験についての説明のほか、昭和大学独自の臨床薬剤師育成カリキュラム、富士吉田キャンパスでの寮生活、昭和大学病院感染制御チーム(ICT)で働く臨床薬剤師についての紹介がされた。

また同日午前中には、高校3年生と既卒1年目の方を対象に、新しく導入する総合型選抜入試についての説明会を開催し、59組114人が参加した。

令和4年度 入学試験要項 決まる

新たに卒業生推薦入試・総合型選抜入試を導入

令和4年度昭和大学入学試験要項を公開し、総合型選抜入試試験(以下、総合型選抜入試)の出願がスタートした。昨年度からの変更点は、全学部で本学卒業生の子女を対象とした卒業生推薦入試(以下、卒業生推薦入試)を開始するほか、歯学部・薬学部・保健医療学部で総合型選抜入試を開始する。また、全学部において、全国を6地域にわけ地域別選抜(現役生に限る)を実施した大学入学共通テスト利用入試(B方式・地域別選抜)による募集を停止する。出願書類審査は前年度と同様、新型コロナウイルスの蔓延による受験生の活動制限を配慮し、総合型選抜入試を除く入学試験において点数化は行わない。【卒業生推薦入試】建学の精神である「至誠一貫」を十分に理解し、将来に渡って継承・発展させていく人材の育成を目的とし、本学の良き理解者である卒業生を擁護するために導入する。

https://adm.sho-wa-u.ac.jp/

令和4年度入試のポイント・変更点

- 1. 新たに卒業生推薦入試と総合型選抜入試を実施(対象学部) 【卒業生推薦入試】全学部 【総合型選抜入試】歯学部・薬学部・保健医療学部
2. 大学入学共通テスト利用入試(B方式:地域別選抜)の廃止
3. 出願書類審査の点数化なし(総合型選抜入試は除く)

薬学部

オープンキャンパス開催

7月4日、対面型の薬学部オープンキャンパスを上條記念館で開催し、89組169人が参加した。新型コロナウイルス感染症防止のため事前予約制とし、当日は、マスクの着用や消毒、席間にソーシャルディスタンスを設けるなど必要な措置を講じた。

参加者からは「ホームページやパンフレットでは分からなかった、たくさんの昭和大学の特色等について学ぶことができた。臨床薬剤師の方や在学生の方のお話を実際に聞くことができ、とても貴重な体験になった。寮生活に不安があったけど話を聞いていこうに安心できた。総合型選抜入試に対する恐怖が薄まった」などの感想が寄せられた。

昭和大学新聞

学校法人 昭和大学 発行人 小口勝司 電話 (3784) 8000 〒142-8555 東京都品川区旗の台1の5の8 1部 50円 毎月1回発行

- 9月号の内容
1面
・令和4年度入学試験要項決まる
・薬学部オープンキャンパス開催
2面
・山岸昌一教授が日本抗加齢医学会学会賞を受賞
・鈴木慎太郎講師が日本アレルギー学会「出前授業による教育の機会創出事業」に採択
・附属病院看護業績賞表彰式
・認定看護管理者教育課程開講式
3面
・令和3年度科学研究費助成事業採択課題一覧(歯学部)
4面
・柴田圭太准教授らの共同研究グループが「新規脳梗塞治療薬」の臨床第II相試験に成功
・昭和大学歯科病院と株式会社ジーンテクノサイエンスが連携
・昭和大学リカレントカレッジの活動報告 第2弾
・昭和大学サポート寄付金寄付者氏名
・就任のお知らせ

【問合せ先】
【本紙について:総務課大学広報係】 03-3784-8059 press@ofc.showa-u.ac.jp
【各種募金・寄付について:企画課】 03-3784-8387
【学事について:学務課・大学院課・入学支援課】 03-3784-8022(旗の台) 0555-22-4403(富士吉田) 045-985-6503(横浜) 03-3784-8026(入学支援課)

医学堂書店 品川区 旗の台 電話(03) 3783-9774



# 山岸昌一教授が 日本抗加齢医学学会賞を受賞



山岸昌一教授(医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門)が第21回日本抗加齢医学学会総会で2020年度日本抗加齢医学学会賞を受賞することが決定した。

日本抗加齢医学学会は、高齢社会のなか、人々の健康寿命を延伸させることを目的に設立された、異分野の専門家や多職種の会員総勢9,000名からなる我が国でも最大規模の医学学会の一つ。同学会では、抗加齢

医学に関する研究が独自の、先導的であり、抗加齢医学の進歩と発展に貢献した業績が著しく大きく、世界的にも認められた会員に対して、日本抗加齢医学学会賞を贈呈している。

山岸教授は、研究テーマ「終末糖化産物(AGEs; advanced glycation end products)とその受容体RAGE(receptor for AGEs)を標的とした心血管代謝老年病に対する包括的な治療法の開発と抗加齢医療の実践」が高く評価され、このたびの受賞となった。

今後、2022年の第22回日本抗加齢医学学会総会にて学会賞の授与式と受賞講演が行われる予定。

# 令和2年度 附属病院看護業績賞表彰式

7月30日、令和2年度附属病院看護業績賞表彰式を旗の台キャンパスで執り行った。

本賞は、業績・人物とも優秀と認められた看護職員に授与される。今年度は6件の業績(業務・研究)が認められ、小口勝司理事長より賞状、小出良平総括病院担当理事から記念品がそれぞれ手渡された。

受賞内容は次のとおり。

**【業務業績】**  
所属名：昭和大学病院  
受賞者：小宮 智子(係長・臨床教員) / 精神看護専門看護師  
受賞内容：COVID-19関連患者対応者への予防的ケアの促進活動

**【研究業績】**  
所属名：昭和大学病院  
受賞者：井出 由美(係長・臨床教員) / 小児看護専門看護師  
受賞内容：NICUにおける身体拘束をしないケアの普及活動

**【救急認定看護師】**  
所属名：藤が丘病院  
受賞者：小林 恭代(係長)

**【研究業績】**  
所属名：昭和大学病院  
受賞者：井出 由美(係長・臨床教員) / 小児看護専門看護師  
受賞内容：NICU新人看護師を対象とした移行支援プログラムに関する実装研究

**【研究業績】**  
所属名：江東豊洲病院  
受賞者：小笠原京子(次長)  
受賞内容：急性期病院における看護補助者の活動実態

# 鈴木慎太郎講師が日本アレルギー学会 「出前授業による教育の機会創出事業」に採択



鈴木慎太郎講師(医学部内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門)が策定した課題「薬局勤務薬剤師に対する成人ぜん息・食物アレルギー・アナフィラキシーに関するシミュレーションソフトウェアとシミュレーターを用いた生涯教育の実施」が日本アレルギー学会「アレルギー診療の質的向上を目指す」教育機会創出プログラムに採択された。

令和3年度「出前授業による教育の機会創出事業」に採択された。

同事業は、日本アレルギー学会が「アレルギーフォーラム」を主眼として立ち上げた「アレルギー診療の質的向上を目指す」教育機会創出プログラムへの支援により公募を行ったもの。

鈴木講師は兼ねてより、シミュレーションソフトウェア「Body Interact」を用いて医学教育を行って来た。この度、同ソフトウェアを用いて主に薬局に勤務する薬剤師を対象にアレルギー・アナフィラキシーの生涯教育を行う計画を策定し、同事業に応募した結果、採択された7件のひとつに選出され、事業費助成金を獲得した。

鈴木講師のコメント  
医系総合大学である昭和大学は医学部だけでなく、薬学部、歯学部、保健医療学部など、多職種連携の卒業学修・生涯教育に強みのある教育・研究機関です。今回の事業は倉田なおみ客員教授(薬学部社会健康薬学講座社会薬学部門)と計画を練り、通常の調剤薬局を

# 認定看護管理者教育課程 開講式

## サードレベル

8月20日、2021年度認定看護管理者教育課程サードレベルの開講式を開催した。本年度の開講式は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、オンラインで開催し、受講者47名が出席した。

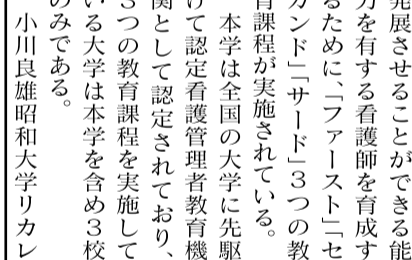
同課程は日本看護協会が資格認定を行っている制度で、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を

発展させることができる能力を有する看護者を育成するために「ファースト」「セカンド」「サード」3つの教育課程が実施されている。本学は全国の大学に先駆けて認定看護管理者教育機関として認定されており、3つの教育課程を実施している大学は本学を含め3校のみである。

小川良雄昭和大学リカレ



告辞：小川良雄プリンシパル



オンライン開催の様子



開講式会場



記念撮影

**!! 相談をご気軽に !!**

- ◆ 万が一のための保障準備
- ◆ 住宅ローン・資産運用 など

お問い合わせ・ご予約は  
三井住友銀行 旗ノ台支店  
東京都品川区旗の台1-4-15  
TEL. 03-3785-3012

三井住友銀行 SMBC

健康応援オーケストラ  
株式会社 **メディセオ**

mediceo

東京本社/〒104-8464 東京都中央区八重洲二丁目7番15号 TEL/03 (3517) 5050 (代)  
URL/http://www.mediceo.co.jp



# 令和3年度 科学研究費助成事業採択課題一覧(歯学部)

令和3年度の科学研究費助成事業の交付は全体で316件が採択され、総計で3億3,376万2,807円が交付される。その内、歯学部は104件が採択され、1億2,560万円が交付される(転入者含む)。

研究種目	所属	職名	研究者名	内定額(円)	研究課題名	研究種目	所属	職名	研究者名	内定額(円)	研究課題名
基礎研究(B)	口腔生化学講座	教授	上條竜太郎	2,300,000	新規シグナル伝達物質・活性イオウ分子種による骨リモデリング制御機構の解明	若手研究	口腔生化学講座	助教	笹 清人	1,500,000	ラクチル化ヒストン修飾による間葉系幹細胞の分化振り分け機序の解明
	歯科補綴学講座	教授	馬場 一美	3,000,000	リポソームとiPS細胞バンクを基盤とした睡眠時ブラキシズム発症機序の解明		口腔微生物学講座	助教	黒澤 実愛	2,000,000	加齢に伴う唾液腺への老化関連T細胞集積メカニズムの解明
	口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門	教授	美島 健二	3,000,000	胎生期唾液腺組織における細胞系譜決定メカニズムの解明		歯科薬理学講座	助教	畔津 佑季	800,000	骨と歯の恒常性維持機構におけるグルココルチコイドの機能解明
		講師	田中 準一	2,700,000	同所移植可能なiPS細胞由来ヒト唾液腺オルガノイドの作出		歯科保存学講座 歯科理工学部門	助教	渡邊 知恵	800,000	糖尿病罹患患者に対する部分床義歯治療の指針確立に向けて
	口腔解剖学講座	講師	馬谷原光織	1,200,000	医学教育における生体センシング技術を用いた新しい技能教育方法の開発		歯科保存学講座 歯内治療学部門	客員講師	高林 正行	100,000	複合現実(MR)による外科的歯内療法の見視支援開発
	口腔生理学講座	准教授	中村 史朗	1,300,000	咀嚼機能の獲得における抑制性シナプス形成の役割の解明		歯科保存学講座 歯内治療学部門	助教	本郷 智之	1,300,000	清掃困難な根管に対する半導体レーザーによる根管洗浄の殺菌清掃効果の解明
		講師	中山希世美	900,000	Phox2B陽性ニューロンを基にした咀嚼運動形成回路の解明		歯科保存学講座 総合診療歯科学部門	助教	山田 理	600,000	う蝕罹患歯質における赤色筋起蛍光発現条件の開発
		講師	望月 文子	900,000	セロトニンとGABAの相互関連による睡眠時ブラキシズムの発症機序の解明		歯周病学講座	兼任講師	今井 裕子	1,900,000	モノカルボン酸トランスポーターを標的とした歯周病性骨破壊の制御
	口腔生化学講座	准教授	宮本 洋一	1,200,000	歯周病の病態形成における活性イオウ分子種の機能解明			助教	山田 純輝	700,000	キャビテーション噴流を利用した新規口腔清掃器具の開発
	口腔微生物学講座	講師	山田 篤	1,000,000	BMP活性促進因子KCPの骨形成促進機能の解明と硬組織再建への応用		歯科補綴学講座	兼任講師	鈴木 航	600,000	骨・軟骨形成における低分子量Gタンパク質Cdc42の機能解明
助教		梅澤はるか	1,200,000	腸管粘液由来の糖利用競争力を介したクレブシエラ菌の腸内定着と及ぼす影響の解明	兼任講師	西山 弘崇		900,000	少数歯欠損における新たな部分床義歯の開発ーフルデジタル・ワークフローの確立と提唱		
歯科薬理学講座	准教授	坂井 信裕	1,000,000	歯と骨の恒常性維持における脂質代謝関連分子の機能解明	兼任講師	杉村 江美	700,000	フルデジタルで機能・色調形態が生体に調和した補綴装置を製作するシステムの構築			
	講師	唐川亜希子	900,000	骨吸収抑制薬が歯根形成を抑制する分子メカニズムの解明	兼任講師	三好 敬太	1,000,000	デジタル印象法における高精度スキャン補助デバイスの開発に関する戦略的研究			
歯科保存学講座 歯科理工学部門	講師	茶谷 昌宏	1,500,000	鱗(ひれ)の骨周囲スペースを制御する未知細胞の同定と機能解明	兼任講師	佐藤 美弥	1,400,000	超高齢社会のための汚れない義歯開発へ向けたMPCコーティング			
	教授	柴田 陽	900,000	新規先端材料開発を目的とした遺伝子改変マウスのエナメル質ナノメカニクス解析	兼任講師	吉田 裕哉	600,000	脳波評価を基盤とした薬剤投与による睡眠時ブラキシズム抑制効果発現メカニズムの解明			
	准教授	堀田 康弘	1,500,000	歯科用デジタルデータの規格化と新規3Dプリンタ材料の実用化に向けた研究	助教	浦野 絵里	1,700,000	神経堤由来幹細胞を用いた硬組織再生方法の開発			
	講師	荻野 玲奈	1,300,000	単斜晶アパタイトの局所合成によるエナメル質初期う蝕再生療法	助教	池谷 賢二	1,500,000	口腔内細菌叢が与える全身への影響とMPCポリマーによる抑制効果の網羅的検証			
歯科保存学講座 歯内治療学部門	講師	片岡 有	800,000	3次元傾斜構造型骨補綴材の創生	助教	原 真央子	700,000	無歯顎高齢者のQOLを保障する補綴治療介入モデルの構築			
	教授(員外)	鈴木 規元	1,600,000	根尖病変の成立における抗RANKL抗体の骨吸収抑制機構の解明と臨床応用への期待	助教	三田 稔	900,000	デジタル技術を用いた機械学習によるオーラルフレイルの予測モデルの構築			
歯科保存学講座 総合診療歯科学部門	准教授	伊佐津克彦	1,600,000	臨床研修歯科医師指導用の生体センシング技術による技能教育方法の開発	助教(歯科)	中里友香理	400,000	脳波評価を応用した振動刺激による睡眠時ブラキシズム抑制効果発現機序の解明			
	教授	山本 松男	1,300,000	多色細胞系譜追跡法を用いた歯肉接合上皮の細胞供給システムの解明と幹細胞の同定	助教(歯科)	中井 健人	700,000	睡眠時ブラキシズム患者に特異的な細胞間ネットワークの解明と疾患モデルへの展開			
歯周病学講座	助教	三森 香織	1,300,000	SLPIが関与する接合上皮の感染防御機構の解明	助教(歯科)	楠本友里子	1,800,000	無歯顎者の補綴治療法ディジションメイキングにおける予測モデルの構築			
	助教	相澤 怜	1,100,000	歯肉接合上皮の維持・防御機構における低分子量Gタンパク質Cdc42の機能の解明	普通研究生	中村 浩崇	500,000	振動刺激を用いた睡眠時ブラキシズム抑制装置の効果の検証:ランダム化比較試験			
	准教授	岩佐 文則	1,000,000	セラミックコアインプラントの軟組織接着に関する先進的研究	普通研究生	田林 万奈	500,000	デジタル技術を用いたTooth Wearの診断モデルの構築			
歯科補綴学講座	准教授	田中 晋平	700,000	デジタル印象の精度向上のための補助デバイスの開発と検証に関する戦略的研究	助教	守谷 崇	1,200,000	除脳動脈灌流標本を用いたイミダプリルの作用メカニズムの解明			
	講師	高場 雅之	1,100,000	無線型振動刺激を用いたスプリントによる睡眠時ブラキシズムの長期抑制効果の検証	助教(歯科)	宮本 姿也	900,000	TPD52ファミリータンパクを介するスプラバシンのオートクライン機構の検索			
	講師	安部 友佳	1,000,000	短縮歯列ー第二大臼歯に対する固定性インプラント補綴の介入効果と治療選択要因の解明	口腔外科学講座 口腔腫瘍外科学部門	講師	佐藤 仁	1,100,000	ミエリンの可視化と再生に着目した歯槽神経損傷の新規治療戦略		
	兼任講師	横山紗和子	1,100,000	インプラント治療を基盤とした最適補綴装置選択のための診断補助システムの構築	歯科矯正学講座	助教	吉田 寛	2,000,000	顎顔面領域に存在する神経堤由来細胞による顎裂部骨移植術の開発		
助教	松本 貴志	900,000	高効率5-HT2Aレセプター発現iPS細胞の樹立と新規単離法の開発	助教		長濱 諒	1,700,000	3次元的症例分類からのHemifacial microsomiaのヒトゲノム解析			
口腔外科学講座 顎顔面口腔外科学部門	講師	葭葉 清香	1,000,000	メタゲノム解析を応用した心臓弁膜症の病態の解明と有効な周術期口腔機能管理法の確立	助教	行森 茜	1,900,000	Foxc1を介した唾液腺初期発生メカニズムの解明			
	助教	椋代 義樹	700,000	低酸素状態の口腔扁平上皮癌細胞におけるTPD52の細胞生存因子としての役割の検索	口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門	助教	鯨岡 聡子	1,200,000	免疫チェックポイント分子PD-L1を介したシェーグレン症候群治療モデルの開発		
歯科矯正学講座	講師	芳賀 秀郷	1,000,000	コーンビームCT画像から取得した3次元的下顎骨形態に連関するヒトゲノム遺伝子探索	助教	石田 尚子	1,900,000	遺伝子改変ヒト唾液腺オルガノイドを用いた唾液腺腫瘍関連遺伝子変異の機能解明			
	講師	高橋 正皓	1,900,000	Down症候群の顎顔面形態に連関する遺伝的要因の解明と3次元形態解析	助教	下村 直史	1,300,000	ナノインデンテーション試験によるS-PRG作用歯の歯質強化機構の解明			
口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門	講師	安原 理佳	1,200,000	軟骨分化過程における関節表面細胞のエピゲノム解析	助教	松島 暲	900,000	乳幼児期におけるミチシレンス球菌の口腔内細菌叢形成における役割の解明			
口腔病態診断科学講座 歯科放射線学部門	講師	松田 幸子	700,000	AIを用いた口腔機能低下(オーラルフレイル)自動画像診断支援ソフトウェアの開発	全身管理歯科学講座 歯科麻酔学部門	助教(歯科)	河内 亜希	800,000	OSAに対する非侵襲性電気刺激装置と限定的筋機能療法法の検討:ランダム化比較試験		
インプラント歯科学講座	講師	佐藤 大輔	1,800,000	磁性アタッチメントを用いた非侵襲的新規インプラント安定度測定法の確立	スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門	講師	石崎 晶子	600,000	低出生体重児に対する食支援方法の確立ー摂食嚥下機能と全身発達の関連性ー		
小児成育歯科学講座	講師	浅川 剛吉	1,200,000	Down症候群歯根膜由来細胞による骨髄間葉系幹細胞遊走因子発現解析	助教	刑部 月	800,000	口腔内細菌の同定による口腔粘膜障害の予防法と新たな歯科介入方法の構築			
	助教(歯科)	新田 雅一	1,800,000	ジュニアスリットへの新規素材を応用したスポーツマウスガードの開発	助教	松井 庄平	1,100,000	口腔内細菌叢と認知症病態の関連性の解明			
高齢者歯科学講座	教授	佐藤 裕二	2,100,000	高齢者の口腔機能・食欲・体組成に着目した要介護へ至るフレイルサイクルの解明	助教	佐藤あや子	1,400,000	メタゲノム解析を用いた口腔内細菌叢と内頸動脈狭窄症との関連性の追求			
	准教授	古屋 純一	700,000	低栄養・終末期高齢者の食に対する多職種協働と口腔機能管理の在り方	スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔リハビリテーション医学部門	講師	伊原 良明	300,000	嚥下タイミングの可視化が食事介助に与える影響について		
全身管理歯科学講座 歯科麻酔学部門	講師	七田 俊晴	1,300,000	口腔機能低下症の初期症状を早期発見するための「口腔機能年齢」早見表の確立	兼任講師	小池 丈司	2,400,000	顎顔面がん治療後の口腔乾燥に対する新規治療法の確立			
	教授	飯島 毅彦	1,200,000	血管透過性制御におけるマクロファージの機能解明	兼任講師	後藤 未来	800,000	歯周病モデルマウスを用いた炎症性骨破壊に対する骨吸収抑制薬の作用機序			
全身管理歯科学講座 総合内科学部門	教授(員外)	木庭 新治	400,000	心大血管リハビリテーションによるHDL機能の改善と再発予防効果の解明	助教(歯科)	馬目 瑠子	1,200,000	TLR7リガンドR848による癌骨浸潤治療法の開発			
スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門	教授	弘中 祥司	900,000	超音波エコー装置を用いた小児の口腔機能規格評価法の確立	普通研究生	金田 眞梨	1,200,000	顎関節症の慢性化の機序の解明			
	講師	内海 明美	800,000	幼児期の食習慣が学齢期の口腔機能発達に及ぼす要因分析とスクリーニング方法の開発	助教	佐藤あや子	(※)0	メタゲノム解析を用いた口腔内細菌叢と内頸動脈狭窄症との関連性の追求			
スペシャルニーズ口腔医学講座 顎関節症治療学部門	兼任講師	渡邊 友希	700,000	歯科慢性痛患者を対象とした認知行動療法プログラムの作成と有効性の検討	研究活動スタート支援	歯科薬理学講座	特別研究生	松島 英輝	1,100,000	FIB-SEMを利用した肥大軟骨細胞の細胞死メカニズムの解明	
学長直属	特任教授	宮崎 隆	1,100,000	低温アニーリングを用いたエナメル質結晶移行による初期蝕蝕の再生		歯科補綴学講座	助教(歯科)	中井 健人	1,100,000	iPS細胞を用いた睡眠時ブラキシズム発症機序に関する神経機構の解明	
	教授	上條竜太郎	2,500,000	転写ネットワーク解析を基盤とした硬組織再生細胞の最適化システム構築		口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門	助教	高松 弘貴	1,100,000	ES細胞由来の唾液腺間葉細胞を用いたハイブリッド型唾液腺オルガノイドの開発	
口腔生化学講座	教授	美島 健二	1,900,000	唾液分泌障害における唾液腺幹細胞の機能制御メカニズムの解明		口腔外科学講座 口腔腫瘍外科学部門	助教	筑田海一郎	1,100,000	口腔癌における原発巣ー遠隔転移機做モデルを用いた転移メカニズムの解明	
歯科薬理学講座	講師	茶谷 昌宏	3,000,000	遺伝子改変ゼブラフィッシュの骨イメージングによるメカニカルストレス応答機構の解明		口腔外科学講座 顎顔面口腔外科学部門	助教	笹間 雄志	1,100,000	イオウ呼吸による軟骨細胞の増殖と長管骨伸長機序の解明	
	助教	藤川 芳織	800,000	歯周炎モデルにおける接合上皮修復機構の解明		スペシャルニーズ口腔医学講座 地域連携歯科学部門	兼任講師	星野 大地	1,100,000	健康長寿延伸を目的とした包括的口腔機能評価と栄養との関連性の検討	
口腔解剖学講座	助教	井上 知	1,100,000	歯周病による骨折治癒遅延のメカニズム解明							
	助教	壇辻 昌典	600,000	光遺伝学を用いたセロトニン神経系による咀嚼運動の制御メカニズムの解明							

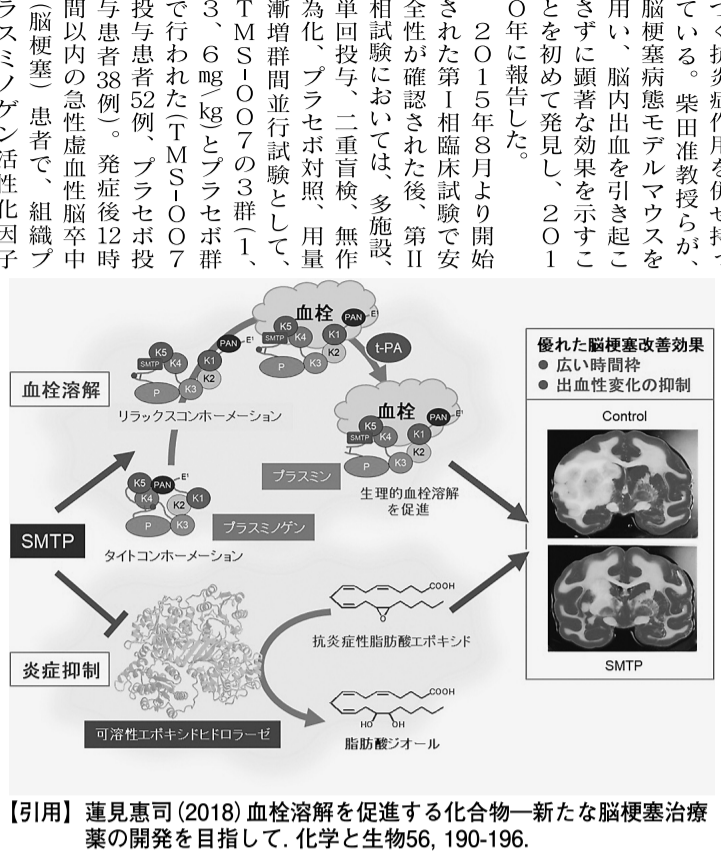
※令和3年度延長課題のため、本年度分の入金なし



# 柴田佳太准教授らの共同研究グループが「新規脳梗塞治療薬」の臨床第II相試験に成功

柴田佳太准教授(薬学部基礎医療薬学講座薬理学部門)らの研究グループが、東京農工大学の研究グループと共同研究を行ってきた新規化合物群SMTPの一種TMS1007において、臨床開発を手掛けるバイオベンチャー(株)ティムスは、脳梗塞患者を対象とした臨床第II相試験を完了し、安全性と有効性を確認した。SMTPは、東京農工大学の蓮見恵司教授らがクロカビから発見した新規化合物群で、血栓溶解酵素プラスミンの前駆体プラスミノゲンの立体構造を変化させ、血栓への結合を促すとともにプラスミノゲンからプラスミンへの変換を促進することで血栓溶解作用を示す。さらに、可溶性エポキシドヒドロラーゼ阻害作用に基づき抗炎症作用を併せ持っている。柴田准教授らが、脳梗塞病態モデルマウスを用い、脳内出血を引き起こさずに顕著な効果を示すことを初めて発見し、2010年に報告した。

2015年8月より開始された第I相臨床試験で安全性が確認された後、第II相試験においては、多施設単回投与、二重盲検、無作為化、プラセボ対照、用量漸増群間並行試験として、TMS1007の3群(1、3、6mg/kgとプラセボ群で行われた)TMS1007投与患者52例、プラセボ投与患者38例)を発症後12時間以内の急性虚血性脳卒中(脳梗塞)患者で、組織プラスミノゲン活性化因子(t-PA)や血栓除去術が適用できない患者を対象として安全性と有効性を評価した。主要評価項目は、米国立衛生研究所脳卒中スコア(NIHSSスコア)が4点以上悪化した症候性頭蓋内出血の発生率における安全性評価であり、TMS1007群ではイベントは発生しなかったが、プラセボ群では3%の発生率であった。このことから、TMS1007は、従来の血栓溶解剤で指摘されていたような重篤な頭蓋内出血の副作用をもたないことが示された。さらに、TMS1007は、副次評価項目である90日後の機能的自覚度mRS(modified Rankin Scale)についても、プラセボ投与群の18%に対し、TMS1007



【引用】 蓮見恵司(2018)血栓溶解を促進する化合物—新たな脳梗塞治療薬の開発を目指して。化学と生物56, 190-196.

は、血栓溶解療法を受けられる可能性のある患者数を増やし、脳卒中後の機能的自立の可能性を高めることができると思われる。2018年6月に、ティムスは米製薬大手Biogenとの間に最大総額3億3500万ドル(現在の為替相場では、約365億円)規模のオプション契約を締結しており、この結果を受けてBiogenはオプション権を行使し、TMS1007の承認に向けて本格的な開発を加速することになる。今後は、Biogenが、今後のTMS1007の開発、製造、商業化を実施する。同社は現在、TMS1007の臨床開発について、国際共同試験の計画を含め、次のステップを検討している。今回の治験の最終的な結果は、今後、学会や学術誌で発表される予定。

## 歯科病院×株式会社ジーンテクノサイエンス 歯髓幹細胞製造の原料となる乳歯の提供体制を構築

昭和大学歯科病院はこのたび、株式会社ジーンテクノサイエンス(東京都中央区)との連携により、生え変わりの乳歯から得られる「歯髓幹細胞」を活用した治療薬(再生医療等製品)の原料となる乳歯の供給システム構築について合意した。昭和大学と株式会社ジーンテクノサイエンスは2019年9月、歯髓幹細胞を用いた再生医療の事業化に向けた産学連携基本契約を締結した。医系総合大学である本学が保有する広い専門分野における高い研究力と、同社が再生医療事業の基盤としている歯髓幹細胞プラットフォームによって、骨関節疾患領域に留まらない包括的な研究活動および独自の新規再生医療研究を協働で展開している。ジーンテクノサイエンスが再生医療等製品として実用化を目指している歯髓幹細胞は、歯の内部の「歯髓」と呼ばれる組織から採取される幹細胞を一定の培養条件下で増殖させ、医薬品再生医療等製品の原料とするもの。若い提供者(ドナー)の乳歯から採れる細胞は特

に分化・増殖する力が強く、高い組織再生能力が期待されている。また、乳歯は生え変わるため、体に変な負担を伴う脊髄から採取する細胞に比べ、ドナーの負担も少なく、採取タイミングが多いといった特徴もある。2020年3月、昭和大学歯科病院および株式会社ジーンテクノサイエンスは本体制構築における連携の

### 就任のお知らせ (8月3日 理事会承認)

薬学部薬学教育学講座(教育実践学部門) 担当 教授(員外)  
**田中 佐知子**  
前: 薬学部薬学教育学講座(教育実践学部門) 担当 准教授  
任命日: 令和3年8月3日

昭和大学病院がんゲノム医療センター長  
**中村 清吾**  
現: 医学部外科学講座(乳腺外科学部門) 担当 教授  
任命日: 令和3年8月1日

藤が丘病院臨床遺伝・ゲノム医療センター長  
**高橋 寛**  
現: 藤が丘病院院長  
任命日: 令和3年9月1日

### 昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

学校法人昭和大学奨学基金への寄付  
【同窓】横山 俊郎 様(医学部・59回生)

教育研究協力資金への寄付  
【父母】吉田 勝哉 様

各クラブ・学生会への寄付  
【同窓】上條 翔太郎 様(医学部・81回生)  
稲垣 雅彦 様(薬学部・16回生)

病院建設・運営維持の寄付  
【一般】匿名希望 様

【訂正とお詫び】  
第596号(令和3年8月号)3面「令和3年度 科学研究費助成事業採択課題一覧(医学部)」の内定額の一部に誤りがありました。正しくは次のとおりとなります。ここに訂正してお詫びいたします。

研究種目	所属	職名	研究者名	内定額(円)	研究課題名
若手研究	薬理学講座 臨床薬理学部門	准教授	三邊 武彦	100,000	経管投与における薬物血中濃度の比較検討

### 昭和大学リカレントカレッジ 秋期プログラム紹介 第2弾

7月より秋期プログラムの受講生募集を開始し、続々とお申し込みをいただいております。各講座定員に達し次第、受付を終了いたしますので、ご興味のある講座がございましたら、お早めにお申し込みください。今回は11月、12月開講のプログラムをご紹介します。実際に体を動かしながら学ぶプログラムや、実地研修を行うプログラムなどの体験プログラムもご用意しております。

プログラム名 (11月開講)	講師 (敬称略)
知って得する! 靴と足の健康	内田 俊彦
諸国名庭園探訪② ~百万石の古都金沢の庭~	鈴木 誠

プログラム名 (12月開講)	講師 (敬称略)
元オリンピックトレーナーから学ぶ! 100歳までスポーツのできる身体を目指す	曾我 武史 奥茂 敬恭
正しい筋力増強 ~トレーニング及び栄養におけるサイエンス~	蜂須 貢
医薬品登録販売者のための実践薬学講座 ~スタンダードコースその2~	赤川 圭子 他

※問い合わせ 昭和大学リカレントカレッジ事務室 (03-3784-8143)  
リカレントカレッジでは講師を募集しています。同窓生も講師として活躍中です。次号では秋期プログラム紹介の第3弾を掲載します。

